



堺から世界に発信する平和のメッセージ

第1回

平和貢献フォーラム堺

2013年9月8日（日）

13時30分～15時50分（13時開場）

堺市総合福祉会館6階ホール

定員 300人 参加無料

主催 自由都市・堺平和貢献ネットワーク委員会準備室

後援 堺市

式 順

第1回平和貢献フォーラム堺

日時：2013年9月8日（日）13時30分～15時50分

場所：堺市総合福祉会館ホール

第1部 開催にあたって——堺から世界に発信する平和のメッセージ

- 13:30 オープニングセレモニー（成美高校春暁倶楽部による中国獅子舞）
開会の辞 田内 基
自由都市・堺平和貢献ネットワーク委員会準備委員長
- 13:45 祝辞 竹山修身堺市長
- 13:50 Jehan Perera（ジハン・ペレラ）さんへ基金授与式
（NGOスリランカ国民平和評議会専務理事）
Jehan Perera（ジハン・ペレラ）さんのスピーチ
- 14:00 祝辞 平田多加秋堺市議会議長
- 14:05 お祝いメッセージ披露

第2部 フォーラム

- 14:10 記念講演 「平和と人権」
川島慶雄さん（大阪大学名誉教授）
- 14:40 パネルディスカッション「私たちができる平和貢献と国際化」
▷コーディネーター
有田典代さん（NPO 法人関西国際交流団体協議会理事）
▷パネリスト
Hejtmanek Milan（ヒトメネック・マイルラン）さん
（ソウル大学国史学教授）
山口典子さん（国連 UN Women 日本事務所特別顧問）
パネリストによる基調報告
- 15:30 討議 フロアーとの質疑応答
- 15:45 閉会の辞
- 15:50 閉会

ご挨拶



ソーシャルワーカー
韓国崇實共生福祉財団名誉会長
社会福祉法人こころの家族理事長
自由都市・堺平和貢献ネットワーク委員会準備委員長

田内 基

人間は本来やさしいのです。困っている人を見れば、助けたいと思い、悲しい人を見れば、一緒に泣きたくなります。

「ゆとりのある豊かな心」を取り戻し、貧しい子どもたちには夢を、孤独な老人には豊かな老後を、体の不自由な人々には愛の手を差し伸べることができないでしょうか。

一人ではできないことも、二人いればできる。二人ではできないことも、三人、四人いればできます。大勢の人が集まれば、大きな力になります。

これこそ、「市民がつくる福祉」であり「共に生きる幸せ共同体」です。

“私とあなた”が、“君と僕”が、“人間と自然”が、“国と国”とが、国境を越えてできることから始める……そんな身近な、地域に定着した働きです。

共に生きる幸せな社会を創ることが、私の夢であり目標なのです。

市民の福祉の心を育て、地域社会と世界の平和につないでいきましょう。

共に生きていくことのできる豊かな心を、堺から世界へ広げましょう。

祝 辞



堺市長

竹山 修身

「第1回平和貢献フォーラム堺」の開催を、心からお慶び申し上げます。

21世紀は、平和と人権の世紀として期待されておりますが、今もなお、世界では、紛争や貧困、飢餓、感染症の蔓延などにより多くの人々の生命や尊厳が脅かされています。

基本的人権の尊重と平和社会の実現は、人類普遍の原理であり、日本国憲法や世界人権宣言の理念とするところです。

本市では、アジア・太平洋地域において平和貢献活動を行う方々の顕彰を通じて、平和社会の実現に貢献することを目的に、平成20年に「自由都市・堺 平和貢献賞」を創設し、国際貢献、交流活動に尽力された方々を表彰してまいりました。

田内基氏におかれましては、日韓の交流・理解への貢献により、平成22年に第2回大賞を受賞されました。

氏は、この受賞を機に、市民によるネットワークを構築し、平和貢献に向けたさらなる一歩を踏み出すために本フォーラムを開催されるとのことであり、ご同慶の至りに存じます。

結びにあたり、「平和貢献フォーラム堺」の成功と、今後の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



堺市議会議長

平田 多加秋

第1回平和貢献フォーラム堺のご開催、誠にありがとうございます。堺市議会を代表して、一言お祝いの言葉を申し上げます。

はじめに、委員長の田内基様におかれましては、社会福祉法人「こころの家族」の理事長として、在日韓国・朝鮮の高齢者の方々が故郷に近い環境で安心して暮らすことのできるよう、ご尽力してこられました。

また、多文化共生社会の実現に向けて「多様な背景を有する高齢者一人ひとりがどのようにして生涯を全うするか」という重要な課題に真摯に取り組んでこられました。こうした活動が評価され、平成22年には自由都市・堺平和貢献賞の大賞を受賞されておられます。まづもって田内委員長の長年にわたる功績とその理念に対し、心から敬意を表する次第でございます。

さて、グローバル社会が進展した現在、地方自治体におきましても、国際社会の一員として、世界で行われている様々な活動を支援し、また市民の皆様をはじめ多くの人に国際協力、貢献活動に対する理解と認識を深めていただくよう取り組んでいくことが求められております。

このような中、本ネットワーク委員会の皆さまにおかれましては、市民間におけるネットワークを構築し、世界平和に向けて新たな一歩を踏み出そうとしています。我々も皆様の活動に期待を寄せるところであり、今後とも世界平和の実現と国際貢献にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

堺市議会といたしましても、平和と人権尊重社会の実現に向けて、真摯に議論を重ねてまいり所存でございますので、今後とも市議会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、自由都市・堺平和貢献ネットワーク委員会の今後更なるご発展と、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

講師プロフィール

川島慶雄（大阪大学名誉教授）



1934 年生、大阪大学法学部卒業。77 年大阪大学法学部教授、91 年大阪大学法学部長、94 年大阪大学大学院国際公共政策研究科科长、97 年退官。帝塚山大学法政策学部学部長、独立行政法人国際交流基金関西国際センター所長、千里金蘭大学学長、アジア・太平洋人権情報センター所長等を歴任するなど、国際人権に関する幅広い知識と活動実績をもつ。

有田典代（NPO 法人関西国際交流団体協議会理事）



新聞記者、NHK リポーター、NPO 法人関西国際交流団体協議会事務局長を経て現職。国際文化交流協会事務局長。NPO のコンサルティング、行政や企業、教育機関、NPO 間の連携のコーディネーターなどに携わる。総務省、大阪府等の審議会委員など多くの公職・役職を務める。主な編著に『NPO/NGO フロンティアたちの歩み』、『国際交流・国際協力の実践者たち』（明石書店）他。

Hejtmanek Milan（ヒトメネック・マイルラン / ソウル大学国史学教授）



1952 年生、アメリカ国籍。スタンフォード大学で言語学の学士、ハーバード大学で韓国の歴史で修士・博士学位を取得。カリフォルニア大学（バークレー）助教授、ハーバード大学助教授、ペンシルベニア大学助教授、成均館大学教授を歴任。1980 年代の数年間、韓国でアメリカ平和部隊員として勤務。

山口典子（国連 UN Women 日本事務所特別顧問）



堺市女性団体協議会の事務局長、福祉部長として 18 年間女性解放運動をはじめ、環境、消費者問題、教育、福祉、高齢者対策など幅広く活動。平成 13 年 4 月より、第 5 代堺市女性団体協議会委員長に就任。堺市社会教育委員、日本女子相撲連盟の顧問等。現在日本大学大学院総合社会情報研究科国際情報専攻（在学中）

「自由都市・堺 平和貢献賞」の視点

「自由都市・堺 平和貢献賞」では、アジア・太平洋地域との交易により発展したという堺市の歴史的な経緯や周辺地域に平和構築の輪を広げ堺市及び周辺地域の発展に寄与するという点からアジア・太平洋地域における活動を重視します。また、人間が人として当然享受すべき基本的な権利や自由が守られ、経済的、精神的、文化的に豊かな状態すなわち積極的な平和を実現する基盤を強化します。

ヒト・モノ・情報の
自由な相互交流の促進

自由・自主・自律の
保障・強化の推進

ユニバーサル社会・
共同体の実現促進

ヒト・モノ・情報の自由な相互交流の促進

「自由都市・堺 平和貢献賞」では、経済的、精神的、文化的な豊かさを実現することで、対立や紛争の芽を摘むことをめざして、ヒト・モノ・情報の自由な相互交流促進に向けた取り組みや活動を積極的に評価、推進します。

自由・自主・自律の保障・強化の推進

「自由都市・堺 平和貢献賞」では、さまざまな意見・考え方の対立、相違を多様性の共存へと転換することで、より自由で寛容な時代を形成することをめざして、自由・自主・自律の保障、強化に向けた取り組みや活動を積極的に評価、推進します。

ユニバーサル社会・共同体の実現促進

「自由都市・堺 平和貢献賞」では、積極的平和の推進と対立、紛争の未然予防を目的に個人の権利、尊厳、可能性の追求が保障されたユニバーサル社会・共同体の実現に向けた取り組み、活動を積極的に評価、推進します。

歴代受賞者紹介

第1回

大賞：Jehan Perera（ジハン・ペレラ / NGO スリランカ国民平和評議会専務理事）

プロフィール▶1958 年生まれ、平和活動家。NGO“National Peace Council of Sri Lanka“(スリランカ国民平和評議会)専務理事。25年以上民族対立が続くスリランカで、不安定な政治状況の中、政党・宗教・民族に関係なく、非暴力による、平和構築活動を展開。

活動内容▶平和学習ワークショップの開催、出版活動、人材育成、調査研究など、平和的で恒久的な平和実現に向けた活動。

問い合わせ▶NPC:No,12/14,Purana Vihara Rd,Colombo 06

TEL: 2818344, 2845127 FAX: 2819064 E-mail:info@peace-srilanka.org <http://www.peace-srilanka.org>

奨励賞：吉岡秀人（(認定) 特定非営利活動法人ジャパンハート理事長）

プロフィール▶1965 年大阪府生まれ。医師、(認定)特定非営利活動法人ジャパンハート理事長。95 年～97 年、ミャンマーで医療活動に従事。一時帰国後、2003 年から再びミャンマーへ。04 年に国際医療奉仕団ジャパンハートを設立。06 年に「海を越える看護団」を設立。医療保険もなく、医療を受けられない人たちに医療を提供。現在は、カンボジアでも活動。

活動内容▶日本から医療者やボランティアを派遣し、医療活動を展開している他、保健活動、人材育成活動、孤児たちの施設運営、視覚障害者自立支援活動など多岐にわたる。

問い合わせ▶ジャパンハート東京事務局〒110-0016 東京都台東区台東 1-33-6 セントオフィス秋葉原 10 階

TEL: 03-6240-1564 FAX: 03-5818-1610 E-mail:japanheart@e-mail.jp

奨励賞：NPO 法人ネパール女性教育協会 =JNFEA（理事長：山下泰子）

プロフィール▶文京学院大学名誉教授。研究分野は「国際女性法学」。国連 NGO・国際女性の地位協会会長、国際人権法学会理事、世界人権問題研究センター評議員などを歴任。2004 年に JNFEA を設立。06 年にネパールボカラ市内の女子大キャンパスに「さくら寮」を開設し、農山村出身の女子高校卒業生を毎年 10 人受け入れ、教員を育成。

活動内容▶ネパール遠隔地域の少女への初等教育の普及。各小学校へ女性の先生の配置。女性の社会的な自立のモデルになる女性教員養成システムの構築。

問い合わせ▶事務局〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-24-1-1001 FAX:03-6222-3824

E-mail:iwatani@r3.ucom.ne.jp <http://www.jnfea.net>

第2回

大賞：田内 基（社会福祉法人こころの家族理事長）

プロフィール▶1942 年韓国木浦市生まれ。ソーシャルワーカー、社会福祉法人こころの家族理事長。1982 年来日、在日韓国・朝鮮人の高齢者の孤独死が相次ぐという問題に直面し、故郷に近い環境で暮らせる「キムチと梅干がある老人ホーム」を、堺、神戸、京都に開設。韓国国内にも、児童養護施設、障害者授産施設、職業訓練校など、日韓で 15 の施設を運営。

活動内容▶韓国孤児 3000 人の母と慕われ田内千鶴子の長男として、その生誕 100 周年記念事業を、2012 年に開催。母が願った「孤児の少ない社会」を目指して、「UN 国連孤児の日制定」推進に向け、署名活動などを展開。

問い合わせ▶社会福祉法人こころの家族〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾 3360-12

TEL: 072-271-0881 FAX:072-271-5474 E-mail:kazoku@kokorono.or.jp <http://www.kokorono.or.jp>

奨励賞：長瀬アガリン（NGO 川口フィリピン人会 =KAFIN 代表）

プロフィール▶1963 年フィリピン・ミンダナオ生まれ。埼玉県飯能市在住。第二次世界大戦後、先住民と政府の対立が先鋭化したフィリピンで、2003 年に停戦合意がなされたが、現在も不安定な状態が続いている。1995 年に日本人と結婚、1996 年に来日して、日本在住のフィリピン人の互助組織 KAFIN を設立。

活動内容▶紛争被害者の自立支援のためのサービスを提供。日本国内で問題を抱える在日フィリピン女性を中心とする支援活動と多文化共生に向けた地域交流活動。

問い合わせ▶カフィンセンター〒335-0002 埼玉県蕨市塚越 5-51-22 わらび荘 101 号

Tel/FAX: 048-445-6676 郵便振替口座番号: 00190-4-561196 口座名: KAFIN ニュースレター

奨励賞：アフガン孤児支援ラーラ会（代表：柄子真弓）

プロフィール▶悲惨な状況に置かれている孤児たちを支援するため、2003 年設立。2005 年にはアフガニスタン西部のヘラート州に新たな孤児院を設立し、州政府へ寄贈。現在は、ヘラート州内の孤児院の生活環境改善への支援や、生活物品の供与などを行っている。

活動内容▶現地で講師を雇用し、孤児院内で英語教室やパソコン教室を開設。孤児たちの教育支援にも取り組んでいる。

問い合わせ▶〒630-0122 奈良県生駒市真弓 4-6-7

Tel/FAX: 0743-78-8047 E-mail: lala-afghan@kcn.jp <http://web1.kcn.jp/lala-afghan>

郵便振替口座番号: 00930-5-249417 口座名: アフガン孤児支援・ラーラ会

第3回

大賞：Daw Aung San Suu Kyi(アウンサンスーチー / 国民民主連盟中央執行委員会議長)

プロフィール▶1945 年、ビルマ（現ミャンマー）の国民的な指導者アウンサン将軍の娘として、ヤンゴン市（旧ラングーン）に生まれた。ミャンマー連邦共和国在住。1988 年に民主化運動に参加、国民民主連盟（NLD）を結成し、書記長に就任。1989 年から 2010 年まで国家防衛法違反により自宅軟禁された。1991 年、アジア女性として初めてのノーベル平和賞を授賞。

活動内容▶ミャンマーの民主化及び国民和解、持続的な発展に向けた改革

問い合わせ▶<http://www.nldburma.org/>

大賞：台湾赤十字組織（会長：王清峰）

プロフィール▶1904 年、台湾台北市。上海万国紅十字会として設立。1933 年、中華民国紅十字会と改称。1954 年、台湾における法に基づく唯一の民間団体として各国の赤十字と交流。国内外の人道支援に尽力。

活動内容▶2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で、台湾の人から寄せられた約 13 億円を日本に送金。さらに 4 億円を追加して、日本赤十字社を通じて被災地の緊急復旧作業の支援に充てられた。震災以降、被災地を何度も訪問し、日本赤十字社及び各市町村と連携した支援を行っている。

問い合わせ▶E-mail: redcross@redcross.org.tw <http://www.redcross.org.tw/history.aspx>

台北市萬華區艋舺大道 3 0 3 號紅十字會, Bangka Boulevard, Wanhua District, Taipei City 108, Taiwan

奨励賞：松居 友（ミンダナオ子ども図書館館長）

プロフィール▶1953 年東京生まれ。フィリピンキダパワン市在住。児童文学者、ミンダナオ子ども図書館館長。2000 年、ミンダナオ島を訪問。紛争や貧困で表情を失っている子どもたちを救いたいと、絵本の読み聞かせ活動を始めた。2003 年、「ミンダナオ子ども図書館」を設立し、小学校や保育所建設、医療支援、奨学金の付与なども行っている。

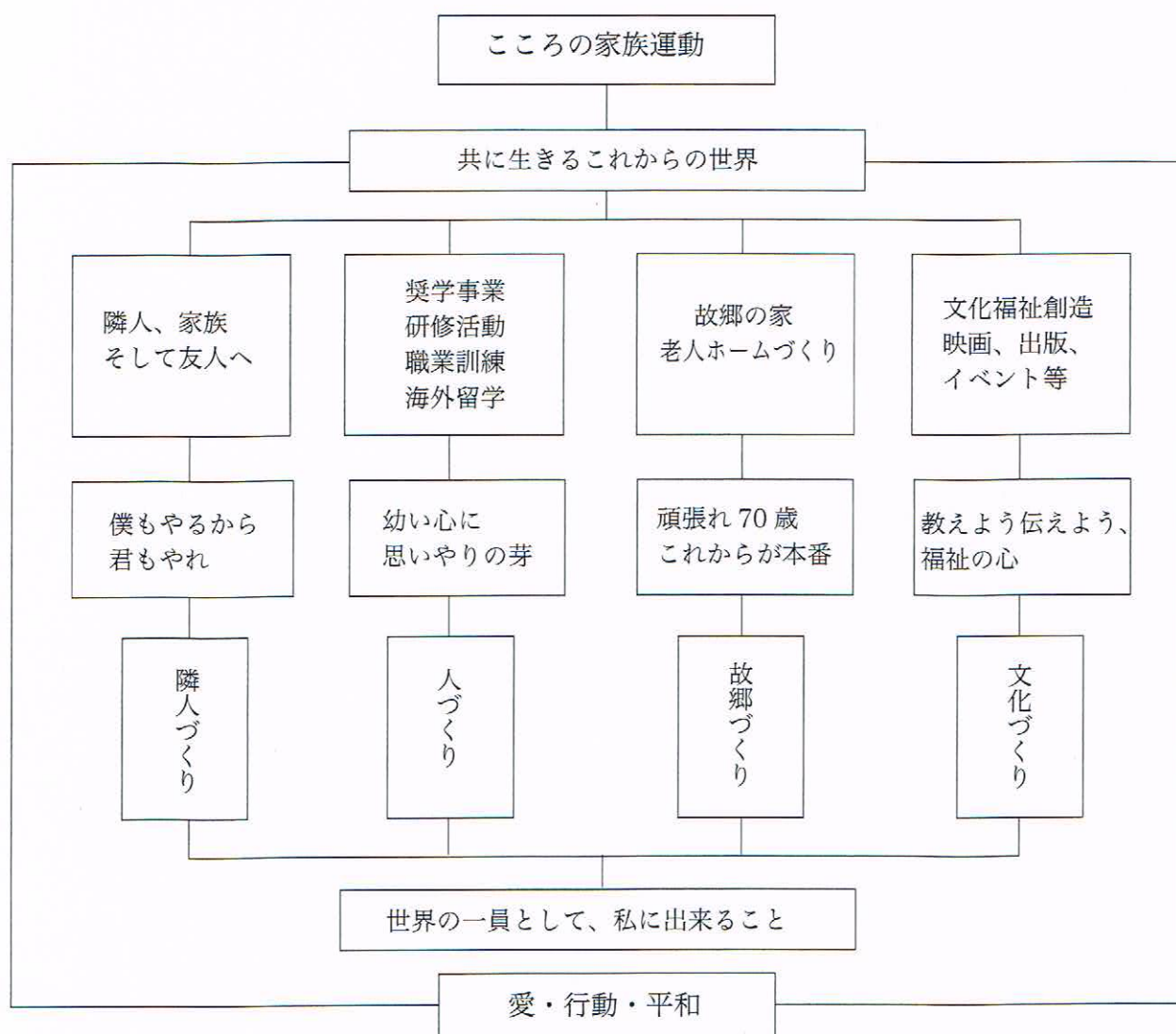
活動内容▶日本の不登校やひきこもりなどの課題のある青年たちを招き、子どもたちへの支援と交流を通じて、生きる力をつけるための活動も行っている。

問い合わせ▶日本事務局 Fax 専用 093-473-7710（内容は本部に転送されます）

E-mail: mclstaff@zar.att.ne.jp <http://home.att.ne.jp/grape/MindanaoCL/mindanews.htm>

郵便振替口座番号 00100 0 18057 加入者名「ミンダナオ子ども図書館」

田内 基 の平和福祉の世界



田内 基 の受賞歴

韓国第 22 回小波賞 (1978 年 2 月)、大韓民国国民褒章 (1979 年 6 月)、韓国福祉新聞社世界平和福祉人物賞 (1997 年 10 月)、大阪府知事表彰国際交流部門賞 (2000 年 5 月)、毎日新聞社社会福祉顕彰 (2000 年 10 月)、国際交流基金地域交流振興賞 (2002 年 3 月)、日本財団社会貢献賞 (2002 年度)、韓国江南大学名誉社会福祉学博士号 (2005 年 2 月)、韓国三星グループ湖巖財団湖巖賞社会奉仕賞 (2006 年 6 月)、大韓民国国民勳章冬栢章 (2007 年 10 月)、韓国放送公社 KBS 海外同胞賞受賞 (2009 年 3 月)、外務大臣表彰 (2009 年 7 月)、大韓民国木浦市名誉市民 (2009 年 10 月)、自由都市・堺平和貢献賞大賞 (2010 年 10 月)

Jehan Perera (ジハン・ペレラ) 氏への基金授与理由

民間による平和構築への取り組みが困難な状況にあるスリランカで、言論抑圧や暴力的な支配による危険に曝されながらも現地に留まり、草の根活動家たちと共に活動を続けているジハン・ペレラ氏を支援することを目的としています。ジハン・ペレラ氏が展開する平和に向けての活動を支援することが、和平を願う子どもたちや民衆の未来を開き、アジア地域全体から地球規模の平和・安定に寄与することを期待しています。

自由都市・堺（SAKAI）平和貢献ネットワーク委員会

自由・平等・平和・幸福のあふれる希望の街づくりを！

目 的

堺市が創設した「自由都市・堺平和貢献賞」を、民間レベルで輪を広げることを目的とする。

- 1) 「自由都市・堺平和貢献賞」の発展と周知を図る
- 2) 市民レベルの交流を深める
- 3) 堺から平和の心を発信する

アクションプラン

- 1) 平和貢献フォーラム堺（SAKAI）を年1回開催
- 2) 「自由都市・堺平和貢献賞」の受賞者が活動するアジアの現場を訪問
- 3) 「自由都市・堺平和貢献賞」の受賞者が活躍するアジアの芸術家を堺へ招待・交流
- 4) 「自由都市・堺平和貢献賞」の受賞者・友の会を、授賞式の前夜祭として開催
- 5) 堺平和国際映画祭を開催
- 6) 青少年交流ならびに青少年のための技術教育を支援
- 7) 広報誌発行

事務局

社会福祉法人こころの家族内に置く。

組 織

当委員会は、堺市内の経済・行政・マスコミ等の各種団体・企業、学術経験者によって構成される。

- 1) 代表会長（1人）、共同会長（3～4人）
- 2) 委員の人数には制限を設けない
- 3) 委員の他に、2名の監事を設ける

田内千鶴子から始まったこころの家族

素朴な願いを 大切に



故郷の家

堺・大阪・神戸・京都・そして東京に

社会福祉法人こころの家族
本部 072-271-0881

<http://www.kokorono.or.jp>

自由都市・堺平和貢献ネットワーク委員会準備室（社会福祉法人こころの家族内）

〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾 3360-12

TEL072-271-0881 fax072-271-5474 E-mail:kazoku@kokorono.or.jp <http://www.kokorono.or.jp>